

- ① 開催年月日 令和2年1月29日 14:00～16:00
- ② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員懇話室
- ③ 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数 7名
放送事業者側出席者名 局次長、ディレクター

④ 議題

(1) 城陽パープルタイムスペシャル

(2) 報告事項

新番組として、伝統行事などを歳時記を伝える「ふるさと見聞帖」の放送が開始。
城陽パープルタイムの特別番組が2月中に放送予定。

⑤ 議事の概要

広報のために各市町のトップに出演をしてもらうことは、市民にFMうじを聞いてもらう機会も増えることになるので積極的に企画を。広報番組は固くなりがちなので、短時間で回数を増やすなど、長く感じさせない工夫をする。第三者も含めた対談形式も一つの方法。との意見が多数出された。

⑥ 審議内容

ディレクター 本日は「城陽パープルタイムスペシャル」の審議をお願いします。

「城陽パープルタイム」は、毎週月曜日の午後4時から40分間放送している城陽市の広報番組です。内容は、城陽市からのお知らせやPRなどのほかに、京都サンガFC情報、文化パーク城陽の情報を放送しています。

特別番組の「城陽パープルタイムスペシャル」は、1時間の放送で年度内に2回放送をされていてこちらの内容は、城陽市をより一層PRするために、その時々で内容を決めて放送しています。

今回は城陽市長に出演していただくということで、市役所へ収録に行きました。

内容は、主にこれからの城陽市についてです。

番組の流れとしては、市長のプライベートを聞いたのち、新名神高速道路、アウトレット店の進出、特産物など、これからの城陽市のお話いただきました。

～同録～

委員 防災や災害に関することは、聞いてなかったのでしょうか。住民としては、開発が行われると開発後に、水の流れが変わって川の水量など色々な影響が少なからず出てくると思いますので、そういった時の対応などが気になります。また、発展すると人口も変わってきますし、アウトレットも、交通網やアクセス、直通バスが運行するのか等々、発展後に想定されること、想定していることが聞けていたらよかったと思います。

委員 「市民が聞いている」ということを念頭に置いて、市民目線で掘り下げて聞いてもよかったと思います。

委員 放送エリアの市町村のトップに番組に出てもらうことはとてもいいことだと思います。普段、FMうじを聞いていない人にも、また、市政にも興味を持ってもらえる良い機会になると思います。

委員 広報番組は堅苦しくなるものが多いので、例えば今回の内容でしたら、10分間、5回に分けて細かく放送するなど、リスナーに長く感じさせない工夫が重要です。

委員 毎回思いますが、インタビューは難しいものですね。上手に聞けていたと思いますが、1時間というのは、長いなと思いました。

委員 子育て世代の私達にとっても、短い時間で自分の住んでいる場所の広報内容が聞けるのはありがたいです。

委員 西江委員もおっしゃっていましたが、積極的にエリアのトップに短時間でいいから出てもらうことが大事です。常にトップが出演し広報することにより、FMうじを聞く人も増えるでしょうし、市役所、役場とのつながりも強くなって良いと思います。

委員長 今回のように市長にインタビューとなると、臆してしまうことが多いと思いますが、広報番組を作るうえで、批判を使ってはいけないと思わず、批判は課題と考えて使っていきましょう。

委員 市民などの第三者と市長との対談形式にするのも一つの方法だと思います。